

留 学 報 告 書

記入日: 2015年6月25日



所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部 国際日本学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: メンフィス大学 現地言語: University of Memphis
留学期間	2014年8月～2015年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2015年6月4日
明治大学卒業予定年	2017年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月中旬～12月初旬 2学期:1月中旬～5月初旬
学生数	約21480人(うち17223人は学部生)
創立年	1912年

留学費用項目	現地通貨 (\$)	円	備考
授業料		円	
宿舍費	\$6,400	768,000円	
食費	\$5,000	600,000円	
図書費		円	
学用品費	\$500	60,000円	教科書
教養娯楽費		円	
被服費	\$300	36,000円	
医療費		円	
保険費		円	形態:学校指定保険
渡航旅費	\$2,500	300,000円	往復
雑費	\$1,500	180,000円	アメリカ国内旅行
合計	\$16,200	1,944,000円	USD⇔JPYは1USD=120円で計算しています

渡航関連

渡航経路: 成田空港～ダラス国際空港～メンフィス国際空港

渡航費用

チケットの種類	エコノミー
往路	約 20 万円
復路	約 10 万円
合計	約 30 万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

イーツアー

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の寮(Carpenter Complex)

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 4 人)

3)住居を探した方法:

メンフィス大学に推薦された寮

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

リビング、キッチン、バスルームをそれぞれルームメイトと共有しますが、各自に個人の部屋が与えられているため、とても過ごしやすかったです。部屋も十分な広さで、マットレスも柔らかくとても居心地がよかったです。エアコンがひとつのコントローラーで全室の温度を管理するタイプだったため、ルームメイトがたまに温度をかなり下げて肌寒く感じることもありました。学校の目の前にありシャトルバスも出ているので、とても便利で快適な寮だったと言えます。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

利用する機会が無かった
 利用した:NY に旅行した際に手首をねん挫して、緊急病院で治療を受けました。大学の医務室は利用しませんでした。

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

友だち。相談窓口もあります。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

学校からなにか事件があるたびにメールが送られてくるので、そのメールを通して情報を得ていました。実際に事件に巻き込まれたことはありませんでした。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学校内は基本的にどこにも WiFi があり、とても便利でした。寮は建物や天候によって大きく変わりますが、私自身の滞在先の部屋では WiFi は接続状況も基本的によかったです。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか？(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本の国際銀行の口座を持っていたので、それを通して親から送金してもらっていました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

Farmers' Market というインターナショナルスーパーがあり、日本のものでも基本的なものなら全て手に入るのの特になんかと思えます。

進路について

1) 進路	
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:	
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など	
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)	
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)	
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。	
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。	
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。 留学をすることで今までになかった進路が開けてくると思います。留学先の学生たちの進路、仕事に対する考え方に直接触れ、自分でゆっくり考えることで新たな道を見つけられる人もいるでしょう。この機会を十分に活かして、新たな可能性を発見してください。	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
20 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 19 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Cultural Anthropology	文化人類学
科目設置学部・研究科	ANTH
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に 85 分が 2 回
担当教授	Dr. Ruthbeth Finerman
授業内容	人類の文化がどのような発展をしてきたかを学ぶ授業です。教授がとても熱心でわかりやすい授業をしてくださるので、いつも楽しく受講することができました。
試験・課題など	課題は次の週に扱うチャプターを読んでくることで、それ以外には特にありませんでした。テストは 3 回で、基本問題と応用問題から成り立っており、応用問題は内容をしっかり理解していないと解けない問題となっています。記述式の問題もありました。
感想を自由記入	教授がベテランのとても熱心な方で、毎回生徒が授業の内容を覚えやすいように様々な工夫をして講義をしてくださいました。テストは少し難しいけれど、その分たくさん学ぶこともあり、とても楽しい授業でした。人類学に興味のある人にはとてもおすすめの授業です。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Fundamental Issues/Philosophy	哲学基礎
科目設置学部・研究科	PHIL
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に 85 分が 2 回
担当教授	Lucas Olsen
授業内容	哲学の基本的な考え方を学ぶ授業です。エッセイや授業中のディスカッション、ディベートを通して様々な哲学学者の考え方を学習しました。
試験・課題など	試験はなく、成績は4つのエッセイに基づいてつけられます。毎回それぞれピックが与えられるので、それについての哲学的視点から分析し、文章にします。また、毎週 Reading Note という教科書の内容をまとめてくる課題が出されます。
感想を自由記入	内容が抽象的でなかなか難しい授業でしたが、教授や友だちに助けられながら、最終的にはしっかりと内容を理解し、エッセイも全て書ききることができました。教授はオフィスアワーに行くと、理解できるまでしっかりと教えてくれるとても優しい方でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Modern Political Thought	現代政治思想
科目設置学部・研究科	POLS
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に 85 分が 2 回
担当教授	Jeffrey Hardy Leedham
授業内容	政治思想家について学ぶ授業です。ホブズやミル、マキャヴェリといった有名政治思想家の考えをしっかりと勉強することができます。
試験・課題など	2回のペーパー課題と、2回の中間テスト、そして期末テストがあります。どれもしっかりと内容を理解していないとできないようになっているので、これらの勉強をする中でより内容を整理し、習熟することができます。
感想を自由記入	自分の中では、秋学期の授業のうち一番面白い授業でした。若い教授ですが、とてもわかりやすい講義をしてくださるので、着実に内容を理解しながら勉強を進めることができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Comparative Politics	比較政治学
科目設置学部・研究科	POLS
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に 55 分が 3 回
担当教授	Yves Mai Orsino
授業内容	様々な政治理論を学び、それらの理論を応用し、それぞれの国に適用して各国の政治形態の違いを見ていく授業です。
試験・課題など	2回の中間テストと、期末テストがあります。それぞれ選択問題、正誤問題、穴埋め問題、記述問題から構成されています。また毎週金曜日にはマップクイズがあり、世界地図についてクイズが出されました。
感想を自由記入	新人の先生でしたが、とても熱心に授業をしており、また一人一人の生徒に対して真摯に向き合っていてとてもいい先生でした。授業は進むスピードが速かったので、毎週の予習をしっかりとしておく必要がありました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
International Relations		国際関係論	
科目設置学部・研究科	POLS		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に 85 分が 2 回		
担当教授	Matthew Placek		
授業内容	現在の国際関係、また国際関係学で使われる様々な政治理論を勉強しました。		
試験・課題など	2 回の中間テストと、期末テストがあります。選択式問題と記述式問題で構成されています。毎週チャプターごとにアウトラインを作ってくる課題が出されます。		
感想を自由記入	毎週チャプターアウトラインを作るため、必ず教科書を読み、内容をまとめるという作業があり、とても大変でしたが、その課題をこなしているうちに、教科書の内容が頭に入り、またその後の授業でさらに学ぶことで理解の定着がとても効率よくできました。内容もとても興味深かったので、楽しんで受講することができました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Principles of Marketing		Gregory W Boller	
科目設置学部・研究科	MKTG		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に 85 分が 2 回		
担当教授	Gregory W Boller		
授業内容	マーケティング理論を学び、それをどのように現実の市場に応用できるかということについての授業です。		
試験・課題など	2 回の中間テストと、期末テストがあります。全て選択問題ですが、応用問題が多いのでしっかりと内容を理解しておく必要があります。		
感想を自由記入	とてもユーモアのある教授で、授業もとてもわかりやすく、毎回授業へ行くのが楽しみでした。一番のおすすめの教授です。これまであまり興味のなかった分野でしたが、授業を受けていくうちに、もっとマーケティング、ビジネス分野のことに学びたいと思うようになりました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Class Instruction Guitar		クラシックギター入門	
科目設置学部・研究科	MUAP		
履修期間	春学期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	1 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	実践形式		
授業時間数	1週間に 85 分が 2 回		
担当教授	Lily Afshar		
授業内容	クラシックギターを練習する授業です。基本からはじめて、最終的には何曲も演奏できるようになります。		
試験・課題など	中間テストと期末テストがあり、どちらも教授の前で数曲演奏する形式のテストです。		
感想を自由記入	生徒が 2 人しかいなかったのでみっちり教わることができました。教授はイラン出身のギタリストで、世界各地でライブをやっている方でした。クラシックギターはなかなか日本では目にする機会がありませんでしたが、授業をとおしてその楽しさ、美しさを知りました。		

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2013年 1月～3月	
4月～7月	留学に関する情報収集
8月～9月	興味のある大学に関する情報収集 TOEFL に向けて勉強
10月～12月	TOEFL 受験 学内選考のための準備
2014年 1月～3月	協定留学学内選考、面接
4月～7月	VISA 取得 予防接種 留学先大学への書類提出 航空券購入 奨学金応募 保険申し込み 渡航前オリエンテーション
8月～9月	8月18日メンフィス到着 留学生オリエンテーション 前期授業開始 日本舞踊チーム参加
10月～12月	中間テスト Halloween Party Florida へ旅行 期末試験 冬休み
2015年 1月～3月	Chicago・New York へ旅行 後期授業開始 中間テスト
4月～7月	Illinois 州へ旅行 期末試験 留学終了
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

<p>留学しようと決めた理由</p>	<p>私が留学を決めた理由は、もともと興味があった国際関係論を日本以外の視点から学んでみようと思ったからです。ディベート、ディスカッションが中心といわれるアメリカの授業で、より深い知識を得て発信力をつけることを目的に留学しました。もちろん英語力の向上も目的の一つでした。やはり現地でしか身につかない表現はたくさんあります。実際に海外で生活することで、日本ではまず習わない、またなかなか聞く機会が少ない「頻出表現」はアメリカにはいくらでもあります。語学力を留学の目的に挙げると、よく「英語が話せるのは当たり前」「就活には役に立たない」などとよく耳にします。しかし、留学は決して就活のためにするものではありませんし、英語が好き、もっとうまくなりたいという気持ちがあれば、それは留学をする立派な理由のうちの一つだと思います。</p> <p>しかし、実際に留学してもっとも大きな影響力を持つものは、現地の文化や学生でした。アメリカの学生の授業に対する積極的な姿勢は自分のモチベーションとなり、日本のように「就活」というものに縛られず、年齢層の広い学部生とともにゆつくりと自分の専門分野を極める姿は、日本社会が作り上げた私の中での常識を大きく変えました。</p> <p>やはり若いうちに海外にでて、様々な国の「常識」を見ることは視野を大きくし、将来の選択肢を広げる大きな役割を持っているという点で、留学をしてよかったと心から思います。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>特に、「これをしておけばよかった」と後悔をすることはありませんでした。よく言われる語学力に関しても、現地で生活し授業を受けているうちにすぐに慣れてきますし、たくさんの課題なども比較的日本にいるときよりも時間があるのでゆつくりと時間をかけてこなすことができました。逆に、留学前に緊張しすぎず、リラックスし、楽しもうというくらいのモチベーションを持っておくことが大切だと思います。</p>
<p>この留学先を選んだ理由</p>	<p>メンフィス大学を留学先と選んだ理由として、まず大学の雰囲気がいいと聞いたからです。またメンフィスは、ニューヨークやロサンゼルスなどのように誰もが思い浮かべるAMERICAではなく、あまり知られていない南部の都市ということで、そこに留学することでこれまでとは違うリアルなアメリカを経験することができるのではないかと思ったからです。毎日の忙しい大都市部ではなく、ゆつくりと時間が過ぎるのを楽しめる田舎にあるというのも一つの理由でした。</p>
<p>大学・学生の雰囲気</p>	<p>大学は自然が多く、とても広々としていて気持ちのいいキャンパスでした。キャンパス内にはたくさんのベンチが用意されていて、晴れた日には少しベンチに座って風を浴びながら、たくさんいるリスを見るのがとても快適でした。学生も授業のない時間にはキャンパスでキャッチボールやフリスビーをしていて、知らない人同士でもどンドン混ざってみんな楽しんで雰囲気が大好きでした。</p>
<p>寮の雰囲気</p>	<p>寮はとてもきれいで住み心地のいいところでした。個人の部屋で過ごす時間が多いため、ルームメイトと交流することはあまりありませんでしたが、自分としては寮にいる時間は一人でゆつくりとできたためよかったです。ベッドやソファもとても柔らかく、大満足の寮でした。</p>
<p>交友関係</p>	<p>留学してすぐ、ある日本語を学んでいる現地の学生と出会い、その人の紹介を中心に友だちが増えていきました。日本舞踊のチームに参加したり、国際交流団体の主催するイベントに参加したり、自分から交流の場にどンドン出ていくことで友だちを作ることができました。アメリカは友だちの輪が広いので、一人の友だちをつくることで、その人のつながりでどンドンと新たな友だちができていきました。</p>
<p>困ったこと、大変だったこと</p>	<p>大学が田舎にあったため、近くのスーパーに行くのも車がないと大変でした。バスはあるのですが、あまり治安がよくないと聞いていたため、毎回出かける際には友だちに頼むしか方法がなく、交通の面に関してはとても苦労しました。</p>
<p>学習内容・勉強について</p>	<p>私は国際政治系の授業を中心に履修しました。日本の授業のように一方的に聞くスタイルの授業ではなく、生徒の方からも積極的に自分の意見、疑問を発信する姿勢がとてもすばらしいと感じました。そうした生徒たちから刺激をうけつつ、授業にしっかりと取り組み、多くを学び取ることができました。またこれまでになかった分野の授業を履修したことで、新たな発見や将来の選択肢の拡大などにもつながりました。</p>
<p>課題・試験について</p>	<p>課題はとても多く、夜も眠れない日が何日もありました。しかし、どの課題も質がいいので、それらを通じて予習、復習、定着を図ることができたため、どれもやる価値がある課題ばかりでした。試験は選択式、記述式と様々ですが、どれも授業の内容をしっかりと理解し、応用されても対応できるよう準備しておけばしっかりといい点数を取ることができました。</p>

大学外の活動について	日本舞踊のチームに参加し、1～2 か月に一回のペースで、イベントや小学校、会社などで日本舞踊を披露しました。日本ではあまり触れることのなかった日本舞踊をアメリカで習ったことで、日本の文化を見つめ直すいい機会になりました。またイベントなどを通じて日本文化をより多くのアメリカ人に知ってもらえたので、とても楽しかったです。
留学を志す人へ	留学は自分をひとまわりもふたまわりも成長させてくれます。自分からどんどんチャンスをつかみにいき、人と触れ合い、自分を見つめ直し、さまざまな困難を乗り越えていくことでその成長をきっと実感できると思います。限られた時間を精一杯楽しみ、学び、有効に使えるよう頑張ってください。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中		授業		授業			
	授業	授業	授業	授業	授業	友だちと外出	買い物
午後	授業	授業	授業	授業	授業	友だちと外出	買い物
	友だちとおしゃべり	ダンス練習	友だちと外出	ダンス練習	友だちと外出	友だちと外出	友だちと外出
夕刻	予習・復習	予習・復習	予習・復習	予習・復習	予習・復習	自由時間	自由時間
夜	予習・復習	予習・復習	予習・復習	予習・復習	予習・復習	自由時間	自由時間